

参考見積書の提出について

入札説明書の4「入札参加資格」の(10)に定める機械警備業務の遂行に係る委託料の積算に必要な参考見積書は、下記の事項を踏まえて作成のうえ、ご提出ください。

記

1 見積依頼項目

入札説明書の3の(1)に掲げる案件ごとに、機械警備業務の履行に係る諸経費を含んだ費用について、それぞれ次のとおりとする。

- ・アの案件(常駐警備との併用案件)：仕様書「Ⅲ 機械警備」に定める機械警備業務
- ・上記以外の案件(機械警備単独案件)：各仕様書に定める機械警備業務(全体)

2 提出期限日

入札説明書の5(2)ア(ア)に示す日時(入札書提出期限日の前に提出することに注意)

3 参考見積書の記載例

(1) 見積様式 別紙のとおり

(2) 次の記載例を参考に、上記1の項目に係る費用の見積書(税抜)を作成願います。

項目	月数(①)	月 額(②)	計(①×②)	備 考
①本部(基地局)経費	60月	aa, aaa円	A, AAA, AAA円	
②緊急出動経費(待機所経費含む)	60月	c, ccc円	CCC, CCC円	
③警備対象施設内の センサー等経費	—	—	—	
ア センター等の調達料、 設置料及び保守料	60月	dd, ddd円	DDD, DDD円	
イ センサー等撤去費	60月	k, kkk円	KKK, KKK円	
④通信回線経費 (蓄電池費用を含む)	60月	e, eee円	EEE, EEE円	使用回線 下記参照
⑤その他経費(諸経費等)	60月	yy, yyy円	Y, YYY, YYY円	
合 計	60月	xxx, xxx円	X, XXX, XXX円	

【参考】参考見積書を活用した委託料(業務価格)の積算方法

参考見積書を活用して算出する業務価格(以下「見積活用対象経費」という。)は、次の手順により算出する。

- (1) 提出された参考見積書をもとに、その中央値及び平均値を算出する。算出の結果、円未満の端数が生じた場合は、その端数を切捨てた値(次号において同じ。)とする。
- (2) 前号により算出した中央値及び平均値のうち、いずれか低い数値に対して、見積額が±30%を超える参考見積書がある場合は、当該見積書を除外したうえで、改めて中央値及び平均値を算出する。
- (3) 前2号に基づき算出した中央値及び平均値のうち、いずれか低い数値から千円未満の端数を切り捨てた額を、見積活用対象経費とする。ただし、前号に基づき対象の参考見積書を除いた結果、活用する参考見積書が1通となった場合は、当該見積額から千円未満の端数を切り捨てた額を見積活用対象経費とする。

参 考 見 積 書

令和 年 月 日

(提出先)札幌市財政局管財部契約管理課役務契約担当

住 所
入札参加希望者 商号又は名称
職・氏名

下記業務の入札に参加したいため、機械警備業務の履行に係る費用の参考見積書を提出いたします。

記

業 務 名： _____

参考見積総額(税抜)(※1)	
----------------	--

項 目	月数(①)	月 額(②)	総 額(①×②)	備 考
①本部(基地局)経費				
②緊急出動経費(待機所経費含む)				
③警備対象施設内の センサー等経費	-	-	-	
ア センサー等の調達料、 設置料及び保守料				
イ センサー等撤去料				
④通信回線経費 (蓄電池費用を含む)				使用回線 以下参照
⑤その他経費(諸経費等)				
合 計				

※1 見積額は消費税及び地方消費税の額を除いた業務価格とすること。

※2 入札書に記載する金額は、**契約希望月額(税抜)**を記載することに注意すること。

▼以下に基地局と警備対象施設との間で使用する通信回線を記入すること。

使用回線	(記載例 モバイル回線)
------	--------------